Contraponto bestiale alla mente
獣の対位法(野獣のひらめき対位法)

Adriano Banchieri　対訳：Junko Higasa(2012.12.4 Tue.)

◆お読みになる前に◆

この詩の中には、日本語に訳すと日本で規定する「差別用語」にあたる表現があります。
しかしその表現を変えてしまうと、詩の持つ風刺的な意味合いが変わってしまいます。
またその単語自体が韻を踏んでいるため、別の表現に置き換えることはできません。
もし差別用語に不快を示されるようであれば、以下はお読みにならないでください。

Un cane, un cucco, un gatto, e un chiù per spasso far Contraponto a mente sopra un basso.
(犬、カッコウ、猫、コノハミミズクが気晴らしに低音に基づいて対位法を行なう)

Fa la la la	ファ ラ ラ ラ
Cucù cucù	ククゥー　ククゥー　(カッコウの声)
Chiù chiù	キィゥー　キィゥー　(コノハミミズクの声)
Miaò miaò	ミャーオ　ミャーオ　(猫の声)
Bau bau Bau bau	バウバウ　バウバウ　(犬の声)

Nulla fides gobbis;	せむしを信用するな
similiter est zoppis	びっこも同様だ
Si squerzus bonus est,	もし同じように善良だったら
super annalia scribe.	年代記に書き込め

Fa la la la!	ファ ラ ラ ラ！

【alla mente】直感的なひらめきで
【bonus】良い、善良、正直、忠実、保守派、優秀、善人、健全、慈悲深い、立派、強い、勇士

キリスト教では「獣」は反キリスト教の象徴という意味合いもあるようです。せむしやびっこは「狡猾なもの」を表す比喩である一方、せむしは「頭を垂れて神に従う者」、神と戦いびっこになった狡猾なヤコブは「神の祝福を受けた者」という見方もあります。
教会のオルガニストであったアドリアーノ・バンキエーリはこの歌にどのような意味を込めたのでしょうか？

【アドリアーノ・バンキエーリ Adriano Banchieri】(1568～1634)
音楽理論家・作曲家・詩人・オルガニスト(サン・ミケーレ・イン・ボスコ教会 San Michele in Bosco)
声楽家は「複数のマドリガルを一続きの物語にする『マドリガル・コメディ』を作った人」と認識しているようです。